

(様式)

普及項目	担い手
漁業種類等	地曳き網
対象魚類	全般
対象海域	熊本有明海

## 有明地区漁業士会実践活動「地曳き網漁業体験教室」

県北広域本部水産課・柳田 美登里

### 【背景・目的】

有明地区漁業士会は、会員相互の交流や研修等により会員の知識や技術の向上を図るとともに、地域の漁業振興に対する貢献活動に取り組んでいる。

その貢献活動の一環として、次世代を担う子供たちを対象とした地曳き網漁業体験や学習会を開催することで、漁業の重要性や必要性及び魚食文化についての理解を深めてもらうことを目的とした。

### 【普及の内容・特徴】

(1) 日時 平成30年7月16日(月・海の日) 7:30~12:00

(2) 場所 玉名市岱明町 松原海水浴場

(3) 参加者

ア 有明地区漁業士会会員 14名

イ 玉名市立大浜小学校の児童・保護者(50名)、玉名市立鍋小学校の児童・保護者(32名) 合計82名

ウ 事務局等 13名(不知火地区漁業士会、県漁連、水産振興課、水産研究センター、県南広域本部水産課、県北広域本部水産課)

(4) 体験及び学習内容

ア 地曳き網漁業体験

イ 学習会

① 有明海の環境について

② 有明海で獲れる魚について

### 【成果・活用】

当日は学習会の後、地元の地曳き網保存会の協力を得て、児童や保護者等参加者が一丸となって地曳き網を曳いた。漁獲物の大半はコノシロであったが、ダツやギマ、イシガニ等も混じり、児童らは興味津々に漁獲物を手にしていた。今回の漁業体験や学習会を通じ、漁業に対する児童らの理解や興味が深まり、漁業を将来の職業選択肢に含めてもらえるよう期待している。

また、コノシロをはじめとした漁獲物及び有明海特産のアナジャコやアサリ等の食材を漁業士が調理し児童らと一緒に食べることにより、魚食文化の継承につなげた。

(様式)



写真1 学習会



写真2 地曳網漁体験



写真3 コノシロ等漁獲物



写真4 獲れた魚をみんなで観察

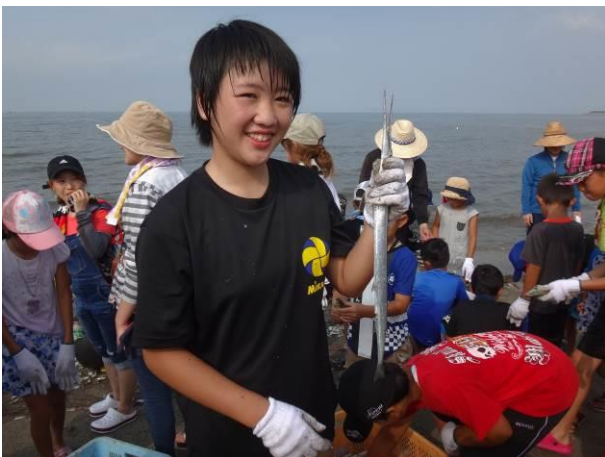


写真5 ダツも獲れました



写真6 参加者全員で清掃活動